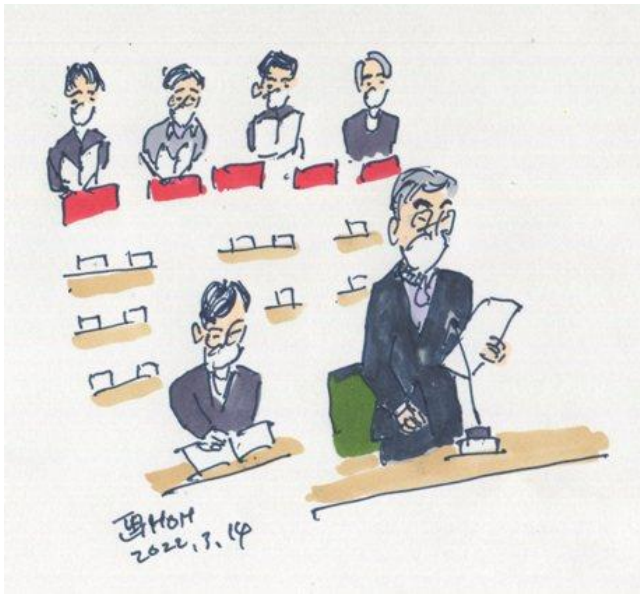


年金改善求める請願を採択



年金者組合が提出 厚生委員会で審査

た趣旨説明を受けて、全委員が意見を述べました。平良木委員が「年金財源がある中で、物価が上がっているのに年金を下げるというのはおかしい。政府の制度設計が間違っている。高齢者の生活を守るために改善すべきだ」と述べたのに引き続いて、小林和孝委員、中土井かおる委員、牧田正樹委員がそれぞれ「高齢者の生活を守るためには必要」と賛意を表し、賛成多数で採択されました。

年金者組合は一昨年も2つの請願(医療費窓口負担の維持を求める請願、加齢性難聴者の補聴器購入費補助を求める請願)を提出しましたが、いずれも不採択でした。道理のある訴えが各議員を徐々に動かしているようです。

今議会に全日本年金者組合上越支部から出された「老齢基礎年金の抜本的な改善を求める請願」が14日に厚生常任委員会で審査され、賛成多数で採択されました。

審査では、年金者組合の関川委員長が行っ

「侵略やめよ」「何より平和を」

約30人がスタンディングで市民に訴え

ロシアによるウクライナ侵略が、世界に暗い影を落としています。多くの方が、この暴挙に対する怒りと悲しみを表しています。

上越でも12日午後、「上越九条の会」のメンバーなどを中心に、「侵略はやめよ」「世界に平

和を」と訴え、広く市民にPRしました。

ウクライナからは、多くの方が命を落としていること、200万を超える人が国を追われていることなどが伝えられています。こうしたことを聞くにつけ、「戦争だけは絶対にやってはいけない」という思いが強くなります。「戦争放棄」を謳った憲法九条を生かして、世論と外交の力でロシアを包囲して平和的に解決することが重要です。



「応募者多数の場合は補正予算で対応」

軽・中等度難聴者向け補聴器購入費助成制度改善

担当課長が安心答弁



予算案では、新年度の補助申請件数を9件と想定しています。予算を審議した市議会厚生常任委員会では、9件の根拠とともに、応募者が多く

これに対して福祉部長は、「燃料費の高騰は、この問題だけでなく経済を含めて全体的な問題であると認識している。市として総合的に考えて行かなくてはならない時期が遠からず来ると思う。そのときにはどうすれば良いのかをテーブルにのせて考えていきたい」と述べ、前向きな姿勢を

ガンリン券支給でも前向き姿勢
今議会に提案されている新年度予算案の中には、多くの市民のみなさんの願いに応える施策がいくつか入っています。その一つが、補聴器の購入費助成制度の改善です。これまでは8歳未満に限られていた軽・中等度難聴者の補聴器購入費助成の対象がすべての年齢に拡大されました。特に加齢による中途難聴を抱える人には朗報です。

なつた場合の対応を、平良木議員がたどりました。これに対して担当課長は、「補聴器の供給事業者の情報をもとに積算した。オーバーしたら補正で対応する」と明言しました。また、市では、障害者などの外出支援として、タクシー券やガンリン券の支給を行っています。この件で平良木議員が「原油の値上げによるガンリンなどの高騰が激しい。この事態に対して、何らかの対応をすべきではないか」とたどりました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.745 2022年3月20日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))